

名古屋大学で開催された JSBC2025 において当社が企業部門総合優勝、構造部門優勝の栄誉をいただきました。

JSBC2025 (Japan Steel Bridge Competition 2025) は、大学生・高専生が自らの力で鋼橋模型を製作し、設計・架設などを全国の大学・高専間で競い合う大会です。

これまでは学生のみでの大会でしたが、第 16 回目にあたる今年の大会では、新たな試みとして企業の参加を募集することになりました。

当社も橋梁技術のアピールの場、実践的な研修の機会と捉え、社内若手チームを結成して奮闘いたしました。

その結果、規定重量のおもりを載せた際の変形量等を競う『企業構造部門』、美観・構造を加味して総合的に評価される『企業総合部門』で優勝を納めることができました。

この受賞を励みに、引き続き当社は持続的な成長を目指します。

(参照：JSBC2025 公式 WEB <http://bricom.jp/>)

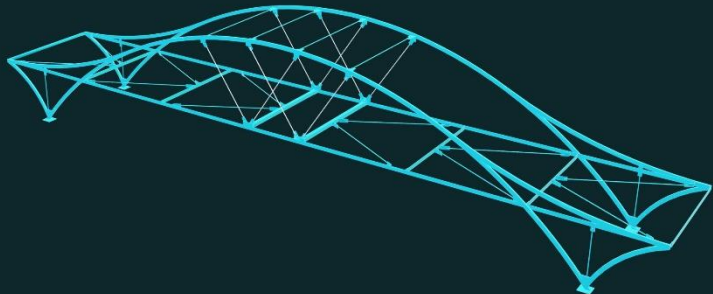
総合優勝の記念撮影



高田機工の橋梁模型【Chrono WArc Bridge】



橋梁説明用ポスター



Chrono WArc Bridge

Chrono 時間

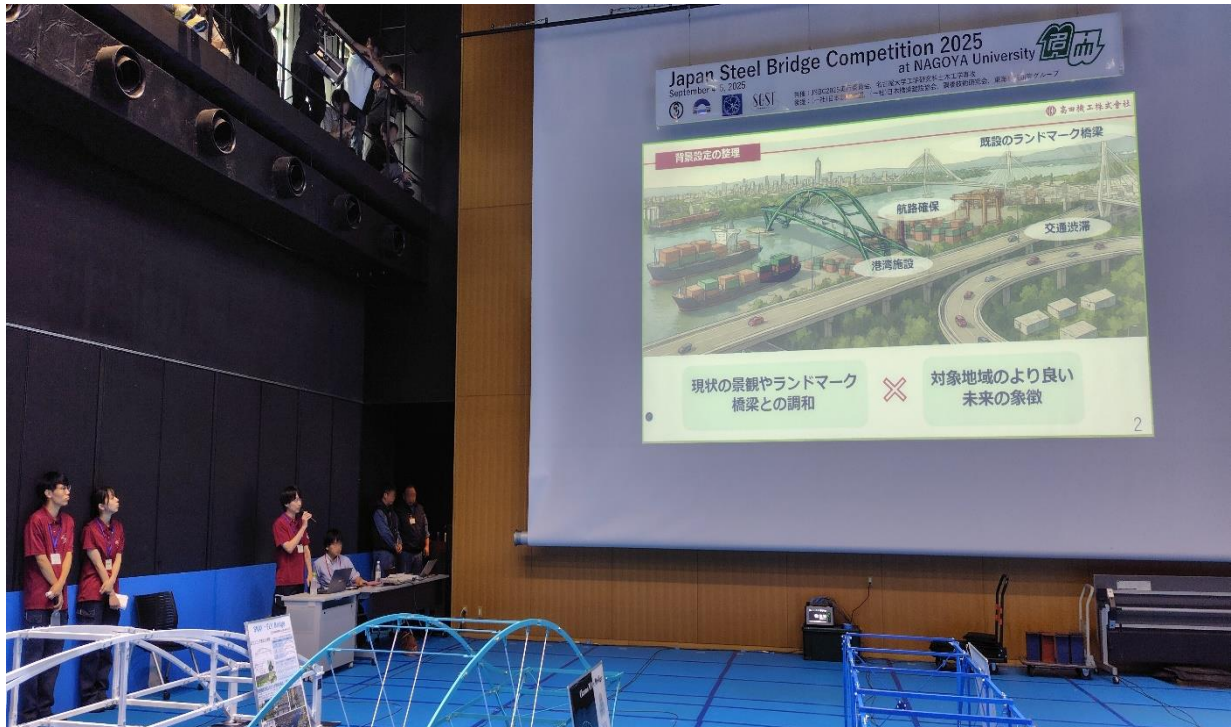
WA 調和

Arc 弧

「Chrono WArc Bridge」は Chrono(時間)、WA(調和)、Arc(弧)の象徴する三要素を組み合わせた造語である。大中小3つの円弧が滑らかにつながり構成されるこの橋は、その形状同様に様々な「カタチ」が一つに合わり、現在と未来をつないでいく象徴となるよう願いを込めて設計されている。またターコイズブルーに塗られた外観は橋のかかる河川の水質改善、周辺の緑地拡大の未来を投影している。

 **高田機工株式会社**

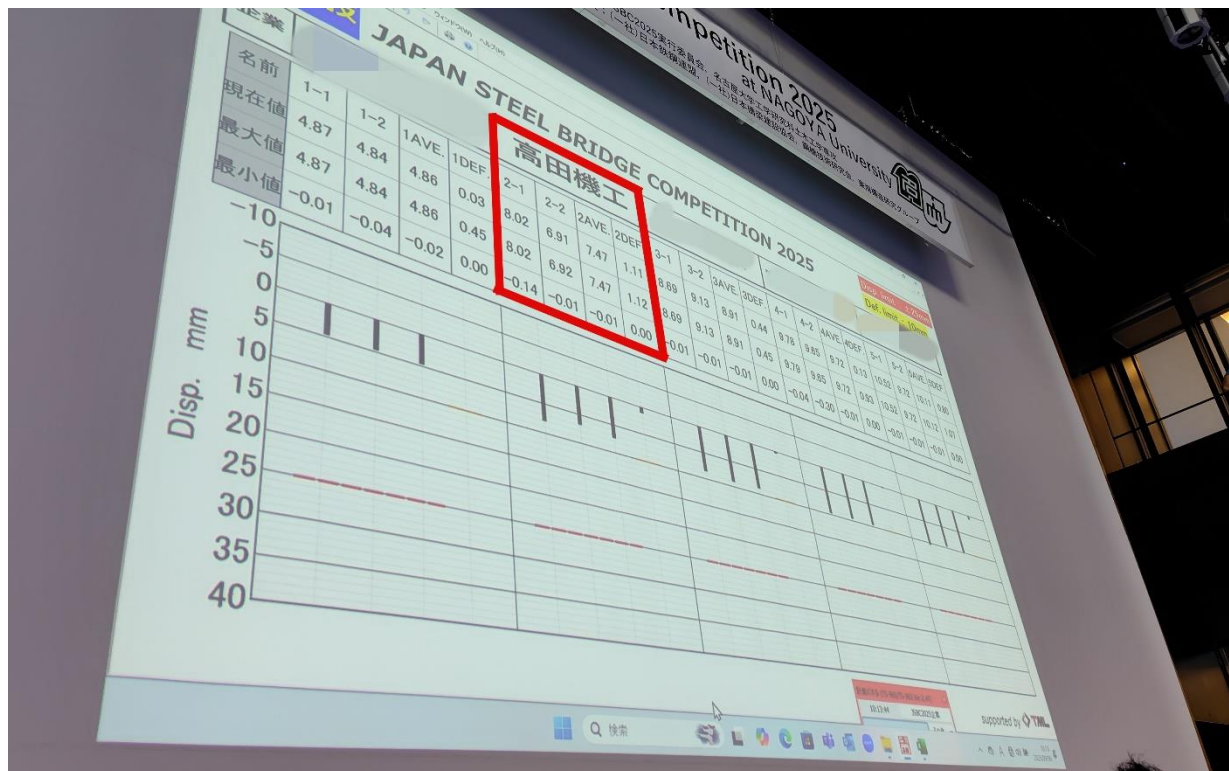
プレゼンの様子



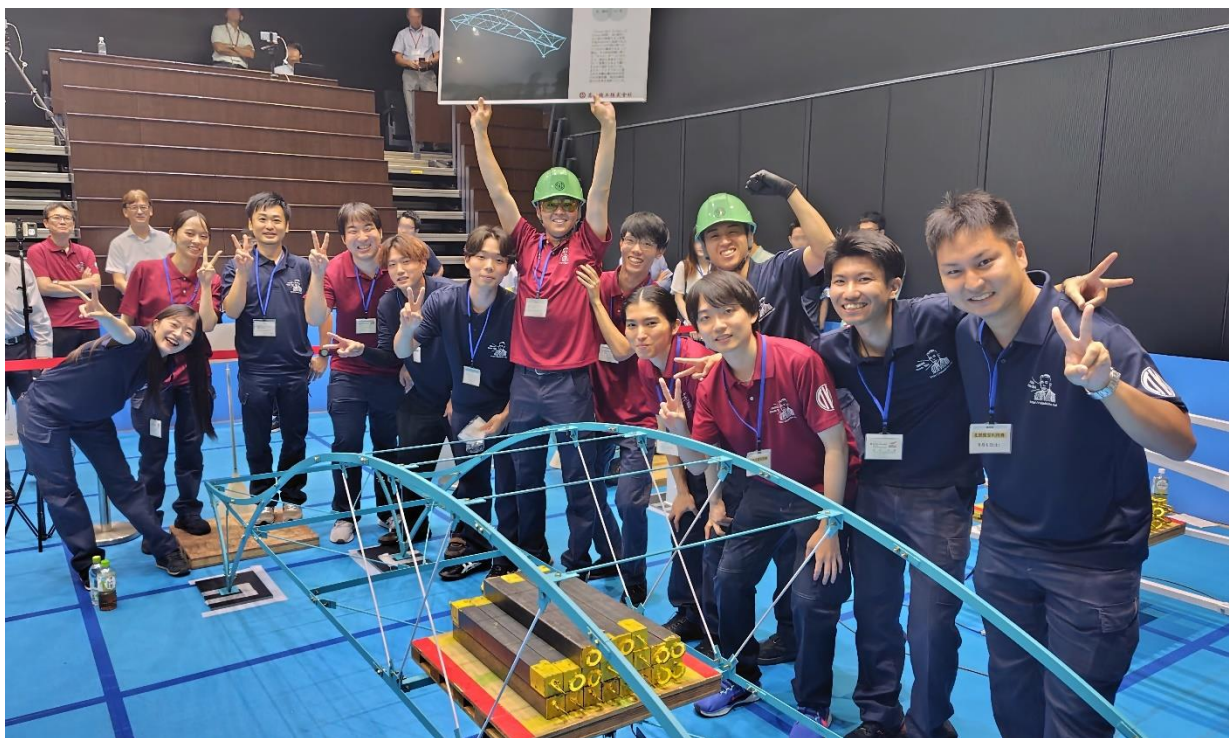
載荷競技中の様子



目標たわみ 8mm に対して $\pm 1\text{mm}$ 以内に収めることができました



載荷競技後の記念撮影



JSBC2025 実行委員会の皆様、並びにご協力いただきました皆様に感謝いたします。
ありがとうございました。

